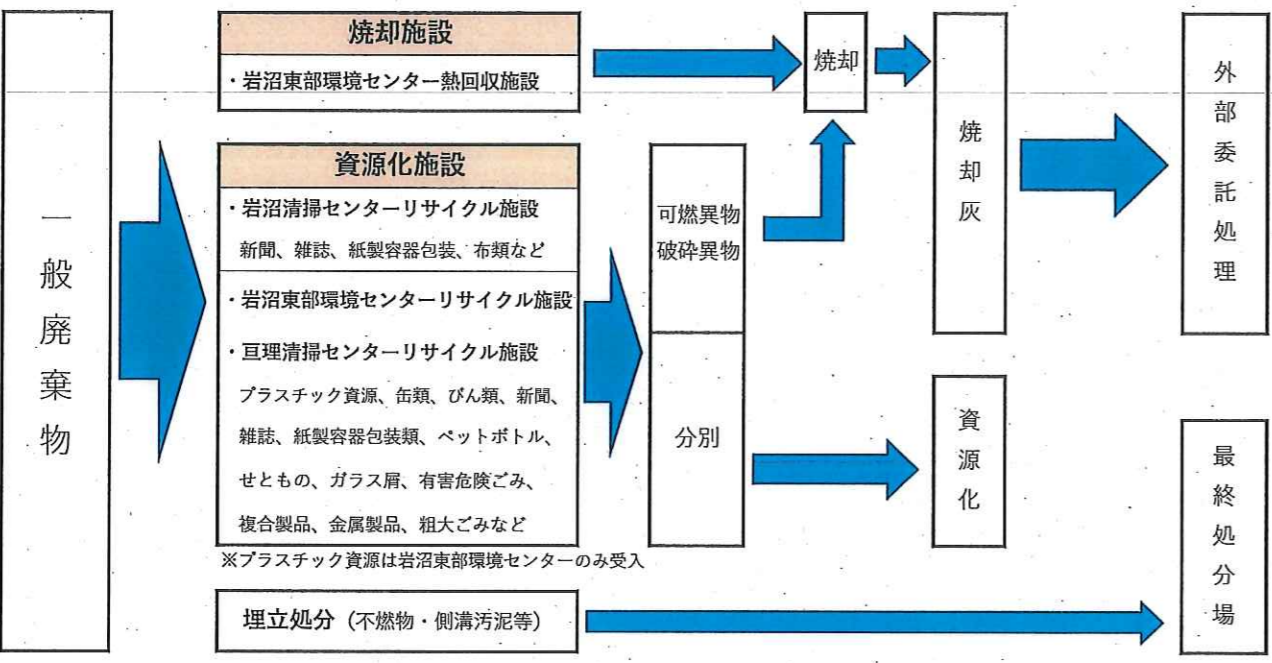


互理名取共立衛生処理組合管内のごみ処理の現状について

1 ごみの流れ

表1 ごみ処理の流れ



2 埋立処理が必要な廃棄物の状況

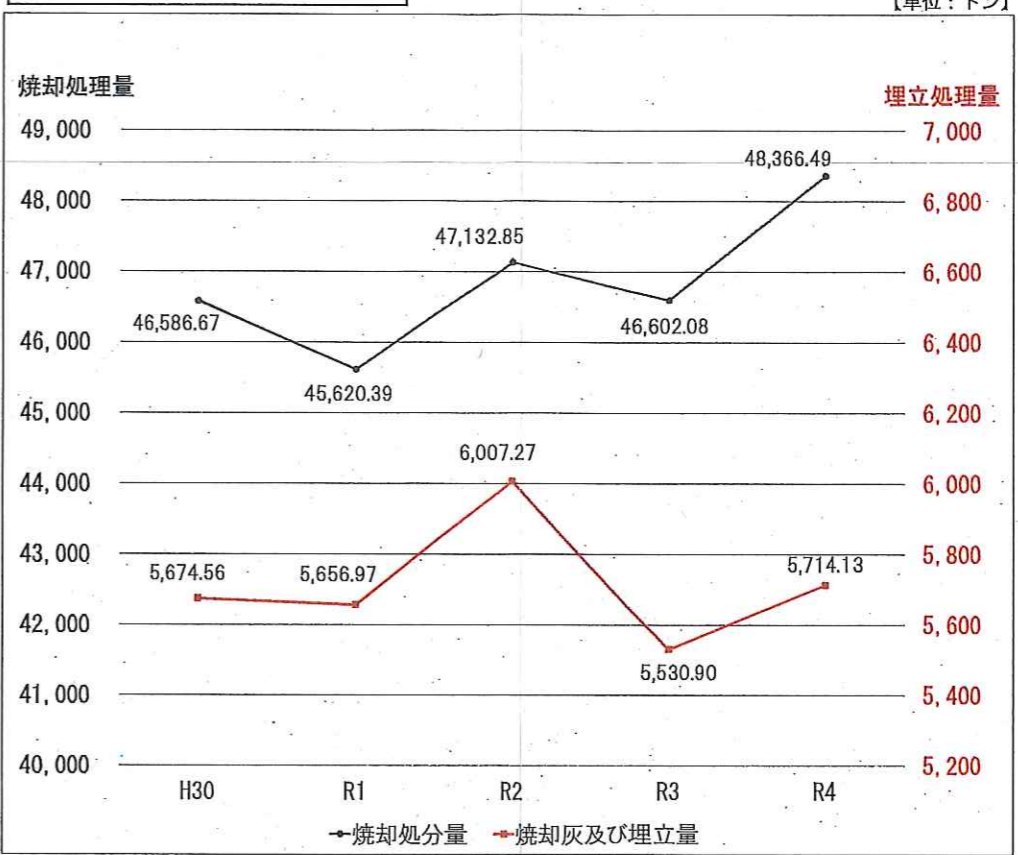
表2 焼却灰発生量及び埋立処理した廃棄物の状況

種類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
焼却灰 (ごみ処理場)	5,513.87	5,503.18	5,871.43 (うち外部委託処理量 5,825.98)	5,388.43 (うち外部委託処理量 5,319.80)	5,562.43
焼却灰 (し尿処理場)	62.02	56.55	47.92	55.50	55.23
中間処理物	12.11	15.73	16.47	21.79	20.88
側溝汚泥	86.56	81.51	71.45	65.18	75.59
合計	5,674.56	5,656.97	6,007.27	5,530.90	5,714.13

※平成29年度より岩沼東部環境センターで発生した焼却灰は外部委託処理を行っている。  
 ※焼却灰の発生率は、おおよそ12%である。  
 ※令和2年度と令和3年度の焼却灰には、仙南クリーンセンターへ搬入した可燃ごみの焼却灰が含まれている。  
 ※中間処理物とは、資源物として処理できない処理困難物をいう。  
 ※側溝汚泥とは、道路脇の側溝清掃で発生した汚泥をいう。

3 ごみ処理の状況

表3 ごみ処理の状況



※焼却処理量については、岩沼東部環境センター以外に外部委託処理で焼却した量を含む。  
 ※焼却灰及び埋立量は、表2で示した数量とする。